



下山小だより

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

みんな輝いた秋季大運動会！



9月25日に第5回秋季大運動会が開かれました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、半日開催といたしました。少ない種目数ですが、その中で、子どもたちが主体的に関わり、成長するためにはどうしたらよいか、職員で話し合い、取り組みを進めてきました。9月は、暑い日も続きましたが、熱中症とコロナの対策をしっかりと、健康に留意しながら、練習を行ってきました。子どもたちは自ら目的をもって進んで取り組んでいました。



運動会当日は、「心は一つ。みんなでつなぐ101人の熱い思い」のスローガンのもと、子どもたちは、全力で走り、心をついに力いっぱい演技し、優勝めざして力を合わせて頑張りました。6年生は小学校最後の運動会を自分たちの手で作り上げようと、下級生に声をかけながら、進んで行動し、大変立派でした。



上級生は運動会を立派に運営し、素晴らしい動きを見せてくれました。その姿を見て、下級生は、来年は自分たちが頑張ろうという気持ちを持ったことと思います。このようにして、下山小の伝統が引き継がれていくのだと感じました。自ら進んで取り組んだ子どもたち。一人一人の成長の姿をみることができた運動会でした。



保護者の皆様には、健康面での御配慮や子どもたちへの励まし等、ありがとうございました。運動会当日も、感染症対策を最優先させていただき、暑い中で観覧となり、御負担、御迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。御理解・御協力いただきましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。今後も、様々な状況を総合的に捉えながら、改善を図って参りたいと思います。



ありがとうございました

運動会のテントの片付けのお手伝いありがとうございました。素早く丁寧に片付けていただき、とてもスムーズに短い時間で終わることができました。保護者の皆様の子どもたちを大切にする強い思いを感じました。暑い中、大勢の方に御協力いただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

避難訓練 10月6日

休み時間に、子どもたちには事前に知らせないで、避難訓練を実施しました。それぞれの場所で活動していましたが、一人一人がどうしたらよいか考え、避難行動をとることができました。校庭への避難も素早く、素晴らしいと思いました。日頃から災害に対する意識をより一層高めて自分の身を守れるよう準備しておいてほしいと思います。



金曜集会で、下山あいうえおの「お」思いやりについての話をしました。以下のような内容です。

始業式に校長先生は「みんなに幸せになってほしい」と話しました。みんなニコニコ笑顔で過ごしてほしいと思っています。幸せになるために大切なことは、思いやりの心を持つことだそうです。アメリカの研究でも科学的に証明されています。

家の人の手伝いをしてあげる、困った友達を助けてあげる。いいことがあれば一緒に喜んであげる。そのことで、家族や友達が喜び、人が喜び姿や喜んだ顔を見ることで、自分も幸せな気持ちになります。下山小学校でも、友達のために助けてあげる姿をたくさんみます。相手の人に向けた優しい思いやりの行動は、周りの人を喜びに包みます。

思いやりの気持ちを持っていると、誰とでも仲良くできるし、相手にも思いやりをもって接してもらえるので、いつも幸せを感じていけるのです。

他者の幸せをもたらすことが、結果として自らの幸せをもたらします。

「おもいやりの心」

思いやりのある子とは

まわりの人が悲しんでいれば、ともに悲しみ

喜んでいる人がいれば、その人のためにいっしょに喜べる人のことだ

思いやりのある子は

まわりの人を幸せにする

まわりの人を幸せにする人は

まわりの人によって、もっともっと幸せにされる

世界で一番幸せな人だ

この詩は、病気のために亡くなった若いお医者さんが、愛する娘さんに最後の願いとして書き残したものだそうです。みんなが幸せになるために「思いやりの心」をもって力を合わせて生活してほしいと思います。

文責 校長 新田 修